

UNIVERSITY ENTRANCE EXAM SPECIAL

海外大学進学のための予備校紹介

海外トップ校への留学を支援するアゴス・ジャパン

高校生から社会人のMBA留学まで、留学のためのテストや出願対策を専門に行なっているアゴス・ジャパン。海外大学進学への注目が高まる中、留学の意義や試験の対策について、松園保則先生にお話を伺った。

——今海外の大学へ留学するメリットは何でしょうか。

多国籍の環境でマイノリティーになることのメリットは本当に大きい。言葉をはじめ苦勞は多いものの、新しいことを知る楽しさはすごく感じられます。私は26歳で英国の大学院に留学しましたが、新しい環境に一人で飛び込み留学生活をやりきれたことは、大きな自信につながりました。また米国の大学では、リベラルアーツ・スタディーといって、自分の適性などを見て、3年次までに専攻分野を決めればよい。意欲はあるけど今決めたくないから海外へ、という高校生は多く、行ってから専攻を大きく変えるケースもあります。

——アゴス・ジャパンの特徴を教えてください。

海外の大学はAO入試スタイルが多く、学校の成績とTOEFLやSAT、IELTSの試験に加え、人間性をエッセーでアピールする必要があります。本校では、試験やエッセー対策と出願準備フォローなど、留学に必要なサポートを総合的に行なっています。私の専門の試験対策に関しては、試験の特性を分析してそれに合わせた学習に絞り、本当に必要な力を付ける学びを行なうのが一番大きな特徴です。とはいえ、単にテストスキルの向上ではなく、四技能を総合的に上げる英語の訓練をしないと、試験の点数は上がりません。高得点を安定して出せれば、苦勞しながらも海外でやっていけるだけの英語力が身に付いたといえます。クラスはレベル別で、社会人と学生の混合ですが、高校生

の質の高さは非常に感じています。最近の高校生は驚くほど力を伸ばして結果につなげています。

——海外への進学を考えている方へメッセージをお願いします。

海外に行くと、それまで予想もしなかった可能性が広がり、新たな目標が見えてきます。海外留学の経験者で「行くんじゃなかった」と言っている人に私は出会ったことがありません。世界の日本人の割合は将来的に1%を切ると言われていています。日本にもグローバル化の波は押し寄せていて、この波にのまれず、確実に活躍できる人材になるためにも、一度は海外へ行ってみるべきだと思います。仮に今行けなくても、後から行く道があるのは自分の例を持ち出して話しますが、少しでも今興味を示したのであれば、行ってみたいと思います。行きたいけど試験で点数が出ない、英語力が思うようにつかない生徒さんには、いくらでも手助けしたいと思っています。海外への関心



実際の授業に加えカリキュラムやテキストの制作も行なう松園保則先生

が湧いたときこそが、「一番の行き時」ではないかと私は感じています。



TEL: 03-3463-1343 (渋谷校)
〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町18-4 二宮ビル
TEL: 06-6123-7053 (大阪校)
〒530-0004
大阪市北区堂島浜2-2-28 堂島
アクシビル4階
<http://www.agos.co.jp>